

# 明るく元気に 生き生きと



特別支援学校と学校所在地にある中学校との交流及び共同学習

このリーフレットは、多様な学びの場から、お子様にあった学びの場を選択する際の資料の一つにしていきたいという目的で作成しました。

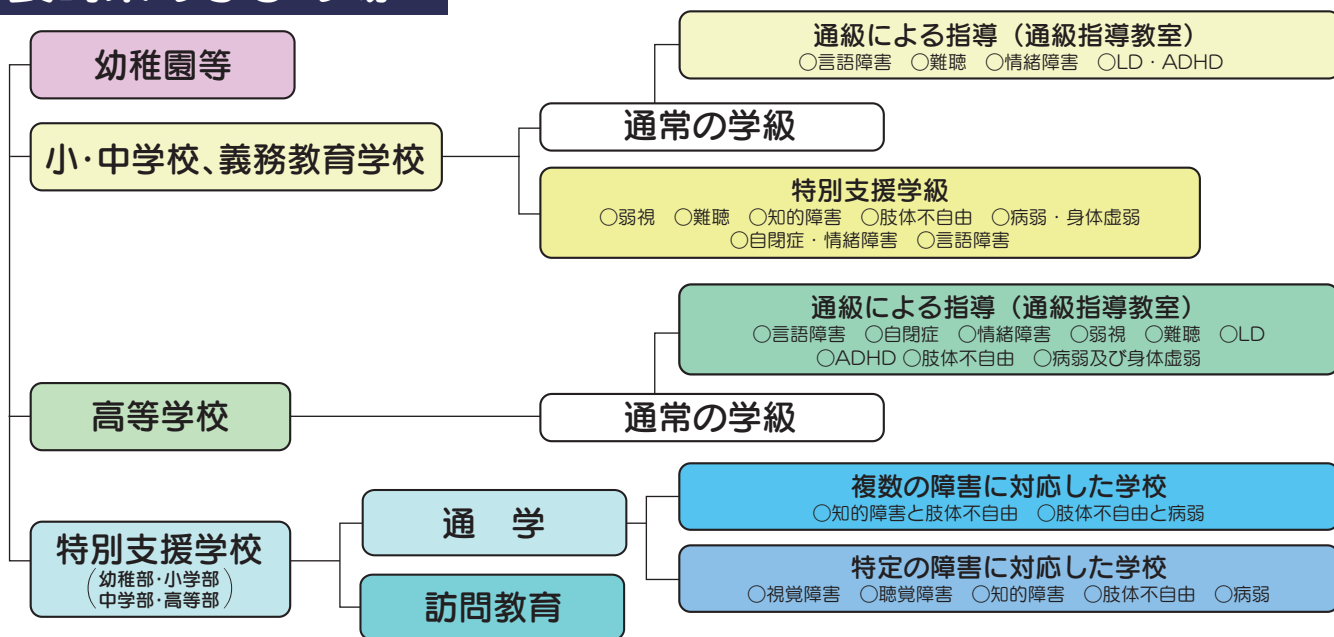
お子様が **明るく、元気に、生き生きと** これからの学校生活を送るために、このリーフレットがお役に立つことを願っています。



長崎県教育委員会

# 長崎県の学びの場

長崎県の学びの場を紹介します



## 一人一人の教育的ニーズに応じた支援のために

1

一人一人に指導が行き届くような体制を整えています。

### 小・中・義務教育学校では

(おおよそ)

- 特別支援学級…児童生徒8人に1名の教員
- 通級による指導…特別な指導（自立活動）を行う教員を配置

### 特別支援学校では

(おおよそ)

- 小・中学部…各学年、児童生徒6人に1名の教員
- 高等部…各学年、生徒8人に1名の教員
- ※重複障害がある子どもには3人に1名の教員

2

子どもが学びやすい設備や教材を整えています。

### 施設設備や教材の整備

- 自立活動室 ○言語学習室 ○プレイルーム ○作業室など
- 1人1台端末、ICT機器（電子黒板やオンライン学習） ○点字タイプなど

3

専門スタッフと一体となった指導・支援をしています。

### 寄宿舎指導員

愛情あふれる生活指導

### 医療的ケア看護職員

安心・安全な医療的ケア

### 特別支援教育支援員

学校生活や学習活動の支援

4

保護者の経費負担を軽くする制度があります。

※収入により補助額が変わります

### 通学費

通学する児童生徒の交通費

### 保護者付添費

一人で通学ができない児童生徒の付添いに要する費用

### 学習活動費

校外学習等に直接必要な経費

### 寄宿舎での生活費・帰省費

遠距離で家から通学できない児童生徒

# 就学手続きについて

## 1 相談の窓口

就学についての相談の窓口は、お住まいの市町教育委員会です。

## 2 入学までの流れ

入学までの流れは下の図に示したとおりです。就学時健康診断は、市町教育委員会が原則として入学する前年の11月末日までに行います。日時や場所は市町教育委員会から家庭に通知されます。

## 3 学校見学、体験入学、先輩の保護者に学ぶ

### 学 校 見 学

…教育方針や教育目標、学校の教育環境や授業の実際の様子、学校行事などを具体的に知るよい機会です。

※見学については、各市町教育委員会にお尋ねください。

### 体 験 入 学

…多くの学校では、実際に授業に参加したり、学習活動を体験したりする機会を設けています。

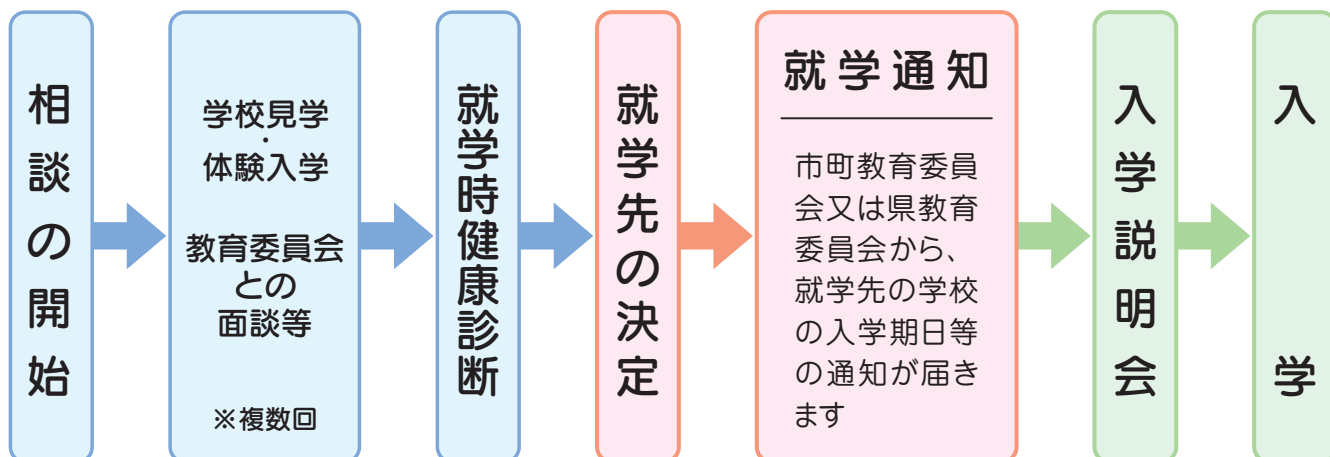
### 先輩の保護者に学ぶ

…すでに就学している児童生徒の保護者から、入学を決めるまでの経験談や学校での成長の様子等を聞くことは大変参考になります。

原則  
**11/30**  
まで

**1/31**  
まで

**4/1**





# 小・中・義務教育学校及び高等学校における教育

## 通常の学級における特別支援教育

通常の学級では、すべての子どもが安心して学び、自分の力を伸ばせるよう、一人一人の教育的ニーズに応じた支援や工夫を行い、誰もが理解しやすく、参加しやすい授業を行います。

障害のある子どもや特別な支援を必要とする子どもに対しては、学級担任や特別支援教育コーディネーターが本人や保護者と相談し、指導方法や教材等の工夫など必要な配慮（合理的配慮）を行い、子どもが持てる力を十分に発揮できるようにします。

ユニバーサルデザインの教室▶  
（前面掲示の削減・電子黒板の使用・椅子の脚にテニスボール）



## 通常の学級に通級による指導を組み合わせた教育

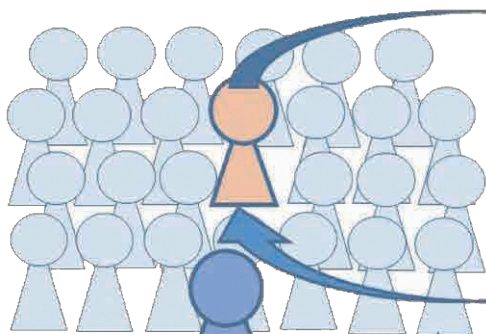
通級による指導は、通常の学級で学習しながら、週に1～8時間（高等学校は週に1～7時間）を自校や他校の通級指導教室で障害による学習上または生活上の困難を改善・克服するための学習（自立活動）を行います。

軽度の言語障害、自閉症、情緒障害、聴覚障害やLD（学習障害）、ADHD（注意欠陥多動性障害）などの子どもを対象としています。



▲口の模型を使った発音の練習

### 在籍学級（通常の学級） ※学校生活の大部分を過ごす。



学級担任

### 通級指導教室

児童生徒が自立を目指し、障害による学習上または生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養い、通級の指導で学んだことを、通常の学級での学習に活かすことをめざす。



通級指導教室担当

連携・協働

在籍学級担任が通級による指導で取り組んでいる学習内容を理解し、通級指導教室担当と同一の方向性で児童生徒を指導・支援する。



## 特別支援学級における教育

小・中・義務教育学校には、特別支援学級が設けられている学校があります。知的障害、自閉症・情緒障害、難聴、言語障害、肢体不自由、病弱及び弱視の障害の種類に応じた特別支援学級があります。

特別支援学級では、少人数（8人以下）で子ども一人一人に応じたきめ細やかな指導を行うとともに、同学年の通常の学級において交流及び共同学習を行うこともあります。



▲タブレット端末を使った学習

## 交流及び共同学習

特別支援学級に在籍しながら、子ども一人一人の実態に応じ、該当学年の学級において特定の教科を共同で学習したり、特別活動や行事で交流したりする機会を設けています。子どもたちの経験を広げる中で社会性を養い、好ましい人間関係を育てることをねらいとしています。



特別支援学校に在籍しながら、居住地もしくはその他の地域の小・中・義務教育学校及び高等学校の児童生徒及び地域の人々と共同で行う学習や交流する経験を通して、障害のあるなしにかかわらず、お互いを理解し、コミュニケーションを育む場となっています。



# 特別支援学校における教育

## 視覚障害のある子どものために

視力、視野、色覚などの見る機能に障害のある子どもの教育を行う特別支援学校（視覚障害）では、視覚障害を補うために諸感覚の発達を促し、移動や情報機器等の活用の技能を高めるための専門的な教育を行います。

充実した施設設備や教材教具等と、長い伝統の中で培われた指導法により、幼稚部から高等部専攻科まで一貫した教育を行います。



▲点字の学習



▲白杖を使った歩行の練習

## 聴覚障害のある子どものために

聴覚に障害のある子どもの教育を行う特別支援学校（聴覚障害）では、子どもの保有する聴力の活用やコミュニケーションの方法（指文字、手話等）や発音指導についての専門的な言語指導や情報の活用等の専門的な教育を行います。

小・中学部では、ことばの指導を中心に子どもの可能性を最大限に伸ばす教育を行います。高等部や高等部専攻科では、更に教養を高め、社会的自立を目指した職業教育にも力を入れています。



▲発表の練習



総合デザイン科▶  
インテリアコースの実習

## 知的障害のある子どものために

知的障害のある子どもを教育する特別支援学校（知的障害）では、きめ細やかな指導により、子ども一人一人の自立への意欲を引き出し、明るく、たくましく生きる教育を行います。

小学部では、基礎学力や社会性の育成に努め、豊富な体験活動の積み重ねにより、基本的な生活習慣や人間関係の形成につなげます。中学部と高等部では、働く意欲や技能を身につけ、積極的に社会参加をする力を養います。

販売の実習▶



◀キャリア検定(清掃)に向けた学習



## 肢体不自由のある子どものために

手、足、体幹に障害のある子どものための特別支援学校（肢体不自由）では、施設設備のバリアフリー化や教材教具の充実を図り、子ども一人一人の教育的ニーズに応じたきめ細やかな教育を行います。

肢体不自由のある子ども一人一人の、学習上・生活上の困難を改善・克服するための指導に力を入れています。また、小・中学校及び高等学校の教科等の指導も適切な手立てや配慮を講じながら行っています。



▲タブレット端末を活用した学習



補助具を活用した歩行の学習▶

## 病弱・身体虚弱の子どものために

長期にわたり入院や生活規制の必要な子どもが療養しながら学習に取り組む特別支援学校（病弱）では、病気の種類や状態に応じて健康状態の改善を図るための教育を行います。また、小・中学校及び高等学校の教科等の指導も適切な手立てや配慮を講じながら行っています。

卒業後は、高等学校や大学などへ進学する生徒もいます。なお、病気の状態が改善すれば元に通っていた学校へ転校する場合があります。



▲ALT（外国語指導助手）との英語の学習

## 通学が困難な子どものために（訪問教育の実施）



▲ICTを活用した学習

通学が困難な子どもに対し、特別支援学校の教員が家庭や施設あるいは病院を訪問して指導をする訪問教育があります。

家庭等での個別学習に加えて、入学式、運動会、学習発表会、卒業式など特別支援学校の行事へのスクーリング、地域の小・中学校等との交流及び共同学習など、可能な範囲で集団による学習にも参加することができます。

# 令和7年度 長崎県の特別支援学校一覧



県立学校HP  
一次コード

障害種別	学 校 名	学 部	所 在 地	関係寄宿舎、施設、病院等
視覚障害	盲学校	幼・小・中 高・専	西彼杵郡時津町西時津郷873 〒851-2101 TEL 095-882-0020	寄宿舎 スクールバス
聴覚障害	ろう学校	幼・小・中 高・専	大村市宮小路3-5-5 〒856-0807 TEL 0957-55-5400	寄宿舎 スクールバス
	ろう学校 佐世保分教室	幼・小・中	佐世保市小舟町60 〒857-0114 TEL 0956-46-0881	
知的障害 肢体不自由	佐世保特別支援学校	小・中・高	佐世保市竹辺町810 〒858-0911 TEL 0956-47-6474	スクールバス
知的障害	佐世保特別支援学校 北松分校	小・中	平戸市田平町荻田免20 〒859-4823 TEL 0950-57-0746	田平中学校内
		高	平戸市田平町小手田免54-1 〒859-4824 TEL 0950-26-1130	北松農業高校内
	佐世保特別支援学校 高等部上五島分教室	高	南松浦郡新上五島町浦桑郷306 〒857-4511 TEL 0959-54-1121	上五島高校内
	島原特別支援学校	小・中	島原市新田町562 〒855-0043 TEL 0957-65-0350	
		高	島原市南崩山町丁2800-3 〒855-0871 TEL 0957-65-4161	
	島原特別支援学校 南串山分教室	小・中	雲仙市南串山町丙9436-2 〒854-0703 TEL 0957-88-3394	
	虹の原特別支援学校	小・中・高	大村市宮小路3-5-1 〒856-0807 TEL 0957-55-5260	寄宿舎 スクールバス
	虹の原特別支援学校 杵岐分校	小・中	杵岐市郷ノ浦町本村触589 〒811-5133 TEL 0920-47-0159	盈科小学校内
		高	杵岐市郷ノ浦町片原触88 〒811-5136 TEL 0920-48-0811	杵岐高校内
	虹の原特別支援学校 高等部対馬分教室	高	対馬市厳原町東里120 〒817-0016 TEL 0920-52-3222	対馬高校内
	鶴南特別支援学校	小・中・高	長崎市蚊焼町721 〒851-0401 TEL 095-892-0258	福祉型障害児入所施設 みり園 スクールバス
	鶴南特別支援学校 五島分校	小・中	五島市錦町1-1 〒853-0003 TEL 0959-74-0333	福江小学校内
		高	五島市坂の上1-6-1 〒853-0065 TEL 0959-72-2303	五島海陽高校内
	時和特別支援学校	小・中・高	西彼杵郡時津町西時津郷873 〒851-2101 TEL 095-881-7126	スクールバス
	時和特別支援学校 西彼杵分校	小・中	西海市大瀬戸町瀬戸檜浦郷1590 〒857-2302 TEL 0959-22-1131	大瀬戸中学校内
		高	西海市大瀬戸町瀬戸西濱郷663 〒857-2303 TEL 0959-22-9150	西彼杵高校内
	希望が丘高等特別 支援学校	高	諫早市多良見町化屋986-6 〒859-0401 TEL 0957-43-5544	
	川棚特別支援学校	小・中・高	東彼杵郡川棚町小串郷1600 〒859-3618 TEL 0956-82-2203	児童入所施設あすなろ
肢体不自由	長崎特別支援学校	小・中・高	長崎市桜木町6-41 〒850-0835 TEL 095-827-6624	独立行政法人国立病院機構 長崎病院 スクールバス
	諫早特別支援学校	小・中・高	諫早市真崎町1670-1 〒854-0084 TEL 0957-26-1798	寄宿舎・スクールバス 医療型障害児入所施設 諫早療育センター みさかえの園総合発達医療 福祉センター むつみの家
肢体不自由 病 弱	諫早東特別支援学校	小・中	諫早市永昌東町24-2 〒854-0071 TEL 0957-22-1863	県立こども医療福祉センター
病 弱	大村特別支援学校	小・中	大村市久原2-1418-2 〒856-0835 TEL 0957-52-6312	寄宿舎 独立行政法人国立病院機構 長崎医療センター 長崎県精神医療センター
	大村特別支援学校 西大村分教室	小・中	大村市上諏訪町1095-2 〒856-0023 TEL 0957-46-3820	児童心理治療施設 大村椿の森学園
病 弱 肢体不自由	桜が丘特別支援学校	小・中・高	東彼杵郡川棚町下組郷386-2 〒859-3615 TEL 0956-82-3630	独立行政法人国立病院機構 長崎川棚医療センター 長崎県精神医療センター
知的障害 (国立)	長崎大学教育学部 附属特別支援学校	小・中・高	長崎市柳町42-1 〒852-8046 TEL 095-845-5646	長崎大学教育学部 附属特別支援学校 HP二次コード

※鶴南特別支援学校高等部西彼杵分教室は、令和7年4月1日に時和特別支援学校西彼杵分校（小・中・高）となりました。

・設置学部について…幼：幼稚園部、小：小学部、中：中学部、高：高等部、専：高等部専攻科

令和7年7月 発行